

平成 14 年 11 月 12 日

各 位

札幌市中央区北 9 条西 15 丁目 28 番地 196
株式会社ソフトフロント
代表取締役社長 村田 利文
(コード番号:2321)
問い合わせ先:管理本部 山本 明彦
電話番号:011-623-1001

子会社の営業活動休止に関するお知らせ

当社は、平成 14 年 11 月 12 日開催の取締役会において、当社 100%子会社の米国法人 ACAPEL, INC.の営業活動について、平成 14 年 11 月末をもって休止することを、下記のとおり決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 営業休止に至った経緯及びその後の対応

当社100%子会社の米国法人ACAPEL, INC.は、平成12年6月に米国市場における当社製品の総代理店として米国カリフォルニア州に設立されました。平成12年末からは、ターゲットをCRM(customer relationship management:セールスやサービスに関わる顧客情報を利用・管理するための統合システム)市場に絞込み、集中的なマーケティング活動を展開してまいりました。

しかしながら、世界的な IT 不況等の影響により当初想定していた米国内での CRM 市場急拡大が見込めなくなったことから、平成 14 年 10 月 18 日開催の取締役会において、これまでの担当事業領域を再編するため、営業活動を休止する方向で具体的な可能性を検討することといたしました。その後、本件に関する詳細な調査・調整等を行った結果、特段支障なく営業活動休止の目処が立ったことから、平成 14 年 11 月 12 日開催の取締役会において正式に ACAPEL, INC.の営業活動について平成 14 年 11 月末をもって休止することを決定いたしました。なお、ACAPEL, INC.が展開しておりました事業については、当社が引継ぐことといたします。

本件に伴う経営責任を明確にするため、ACAPEL, INC.の CEO として同社を担当しております佐々木龍二(当社非常勤取締役)は、平成 14 年 11 月末をもって同社 CEO 及び当社取締役を退任いたします。なお、本件退任に伴う慰労金等の支払の予定はございません。

当社は、本件の処理を含め経営全般の効率アップと体質改善に取り組んでおり、早期黒字化に向け、具体的な改善策を検討しております。

なお、当社といたしましては、本件に伴いACAPEL, INC.の事業に関わる当社の今期以降の資金的な負担が不要となると共に、これまで連結会計上において取り込んでいたACAPEL, INC.の期間損失については、来期以降発生しないことから、本件が当社の当面の経営課題である早期の黒字化実現に向けてプラス要因になるものと認識しております。

ご注意: この文章は一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行なう際には、必ず当社が作成する新株式発行並びに株式売出届出目論見書(並びに訂正事項分)をご覧ください。また、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

2. ACAPEL, INC.の概要

- (1) 名称 ACAPEL, INC.
- (2) 代表者(CEO) 佐々木龍二(当社非常勤取締役)
- (3) 住所 米国カリフォルニア州
- (4) 資本金 2,150,000 米ドル
- (5) 従業員数 6 名
- (6) 主な事業内容 ソフトウェア企画・販売
- (7) 議決権の所有割合 当社 100%
- (8) 業績の動向

	売上高	経常利益	当期純利益
平成 14 年 9 月中間期	\$2,500.02	\$866,256.52	\$1,084,031.35

3. その他

ACAPEL, INC.の損失計上額は従来より連結財務諸表上に織り込み済みですが、この度の営業活動休止の意思決定に際して、営業活動休止にかかる費用 26,785 千円を特別損失として計上いたします。

なお、当社単独の第 6 期中間会計期間においては、ACAPEL, INC.に対する投資残高 252,973 千円及び債権残高 233,749 千円を減損処理及び償却処理し、合計 486,722 千円を特別損失として計上いたします。

以上

ご注意： この文章は一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。
投資を行なう際には、必ず当社が作成する新株式発行並びに株式売出届出目論見書(並びに訂正事項分)
をご覧ください。また、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。